



# AWS Systems Manager

Hybrid Activations 編

AWS Black Belt Online Seminar

村田 京介

Solutions Architect

2023/06

# AWS Black Belt Online Seminar とは

- 「サービス別」「ソリューション別」「業種別」などのテーマに分け、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社が提供するオンラインセミナーシリーズです
- AWS の技術担当者が、AWSの各サービスやソリューションについてテーマごとに動画を公開します
- 動画を一時停止・スキップすることで、興味がある分野・項目だけの聴講も可能、スキマ時間の学習にもお役立ていただけます
- 以下の URL より、過去のセミナー含めた資料などをダウンロードすることができます
- <https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-service-cut/>
- <https://www.youtube.com/playlist?list=PLzWGOASvSx6FlwIC2X1nObr1KcMCBBlqY>

# 内容についての注意点

- 本資料では 2023 年 5 月時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報は AWS 公式ウェブサイト(<https://aws.amazon.com/>)にてご確認ください
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格と AWS 公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS 公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます
- 価格は税抜表記となっております。日本居住者のお客様には別途消費税をご請求させていただきます

# 本セミナーの対象者

AWS の運用をされている方、これから運用される予定の方

## 本セミナーの目的

- AWS Systems Manager Hybrid Activations の機能とユースケースをご理解いただく。

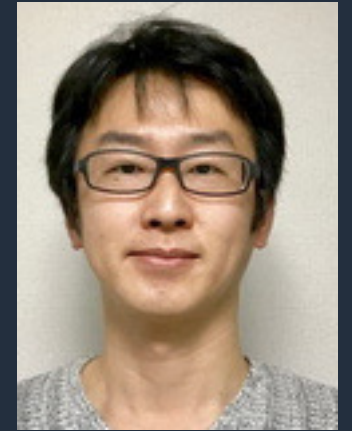
## 本日は話さないこと

- AWS Systems Manager の全体的な説明  
→ [AWS Systems Manager Overview](#) を参照ください
- AWS Systems Manager Hybrid Activations 以外の機能の詳細  
→ [AWS サービス別資料](#)より各機能にフォーカスしたセッションをご参照ください。  
検索結果に表示されない機能については今後公開予定です。

# 自己紹介

名前：村田 京介 (Kyosuke Murata)

所属：技術統括本部 エンタープライズ技術本部  
サービスソリューション部



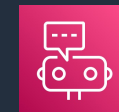
経歴：

ソフトウェアベンダーのコンサルタントを経て、  
現在はソリューションアーキテクトとしてエンタープライズのお客様を担当

好きな AWS サービス： AWS Systems Manager



AWS Chatbot



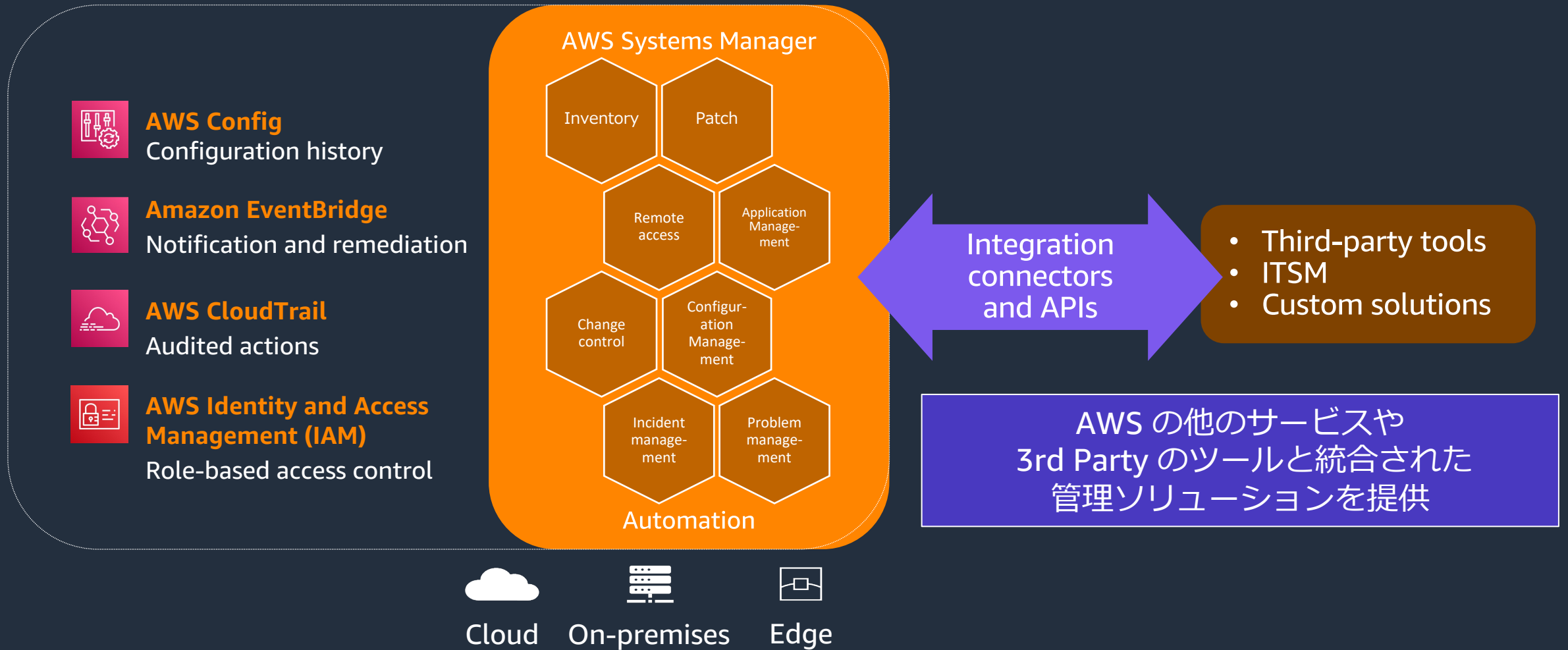
# アジェンダ

1. AWS Systems Manager (SSM) の概要
2. EC2 インスタンス以外を SSM で管理するには？
3. 具体的な構成手順とデモ
4. SSM Hybrid Activations の料金
5. まとめ

# AWS Systems Manager (SSM) の概要

# AWS Systems Manager (SSM)

ハイブリッドクラウド環境のための安全なエンドツーエンドの管理ソリューション





# SSM の機能

## 運用管理



Explorer



OpsCenter



Incident Manager

## アプリケーション管理



Application Manager



AppConfig



Parameter Store

## 変更管理



Change Manager



Automation



Maintenance Windows



Change Calendar

## ノード管理



Fleet Manager



Session Manager



Inventory



Run Command



Patch Manager



Distributor



State Manager

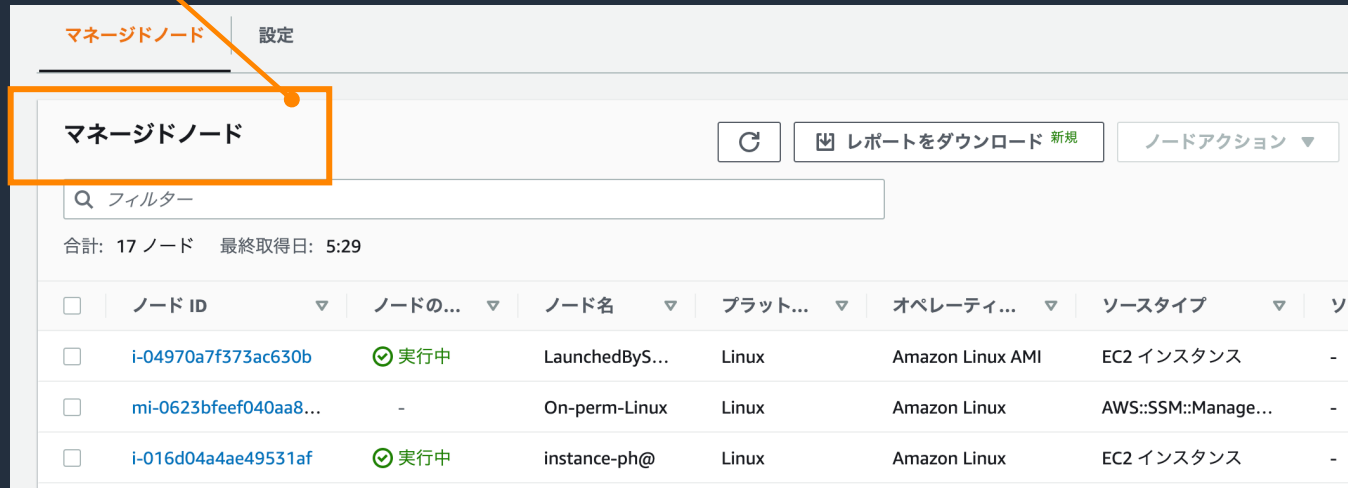
Quick Setup

# EC2 インスタンス以外を SSM で管理するには？

# SSM を使って管理を行うためには

## "マネージドノード"にする

ここに一覧で出てくるようになります



ノード ID	ノードの...	ノード名	プラット...	オペレーティ...	ソースタイプ	ソ-
i-04970a7f373ac630b	🟢 実行中	LaunchedByS...	Linux	Amazon Linux AMI	EC2 インスタンス	-
mi-0623bfeef040aa8...	-	On-perm-Linux	Linux	Amazon Linux	AWS::SSM::Manage...	-
i-016d04a4ae49531af	🟢 実行中	instance-ph@	Linux	Amazon Linux	EC2 インスタンス	-

マネージドノード：

- SSM 管理下のインスタンス群
- EC2 インスタンスのほか、**オンプレミスのサーバも**含められる。

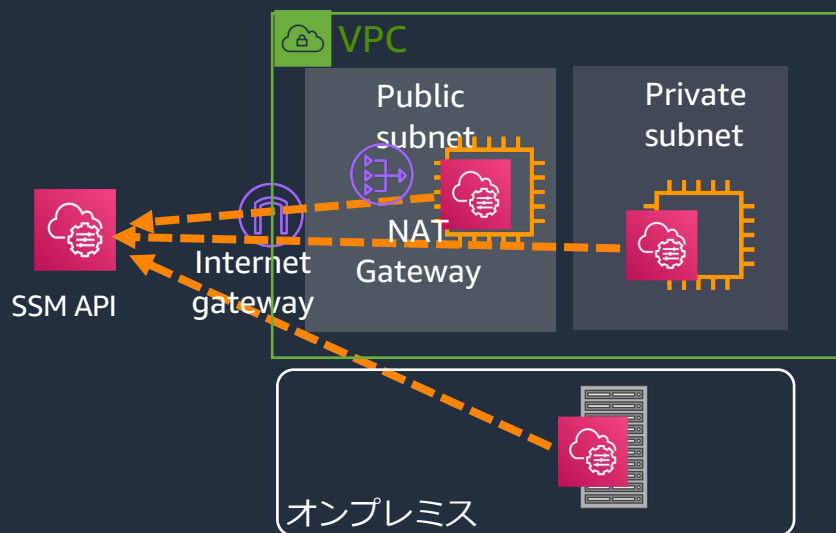
# SSM でサポートされている EC2 以外のマシンタイプ

- オンプレミスサーバ
- 他のクラウド環境およびオンプレミスの仮想マシン
- エッジデバイス

# ① アウトバウンド経路の確保

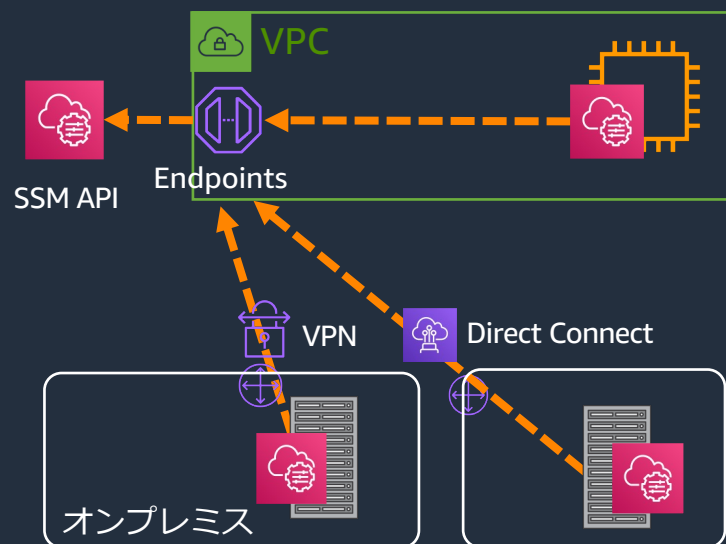
- 以下のいずれかのパターンで、SSM Agent からの HTTPS のアウトバウンド経路を確保
- インバウンドアクセスは不要

## 1. インターネット経由



## 2. VPC エンドポイント経由

- ・プライベートネットワークによる接続が可能
- ・オンプレミスからも AWS Direct Connect や VPN 経由で閉域網経由のアクセスが可能



## ② IAM サービスロールの作成

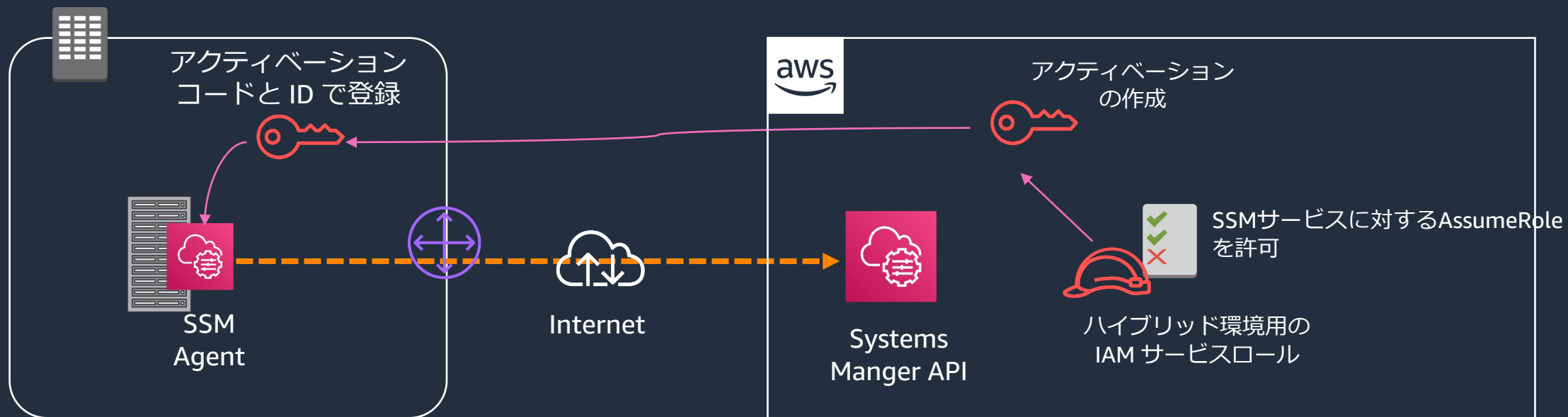
- ▶ マネージドノードが SSM と通信するために IAM サービスロールを作成
  1. 信頼できるエンティティに「Systems Manager」を選択 (必須)
  2. IAM ポリシーについては、まず「AmazonSSMManagedInstanceCore」でコア機能をアタッチ (必須)
  3. S3 などのポリシーをアタッチ (オプション)

IAM サービスロール作成の詳細は[こちら](#)

### ③ アクティベーション作成

1. アクティベーションコードとアクティベーション ID を生成
2. ハイブリッドノード(\*)登録時に生成されたアクティベーションコードとアクティベーション ID を利用

※ ハイブリッドノードとは、オンプレミスサーバ、エッジデバイス、仮想マシンのことを指します。



## ④ SSM Agent のインストールと登録

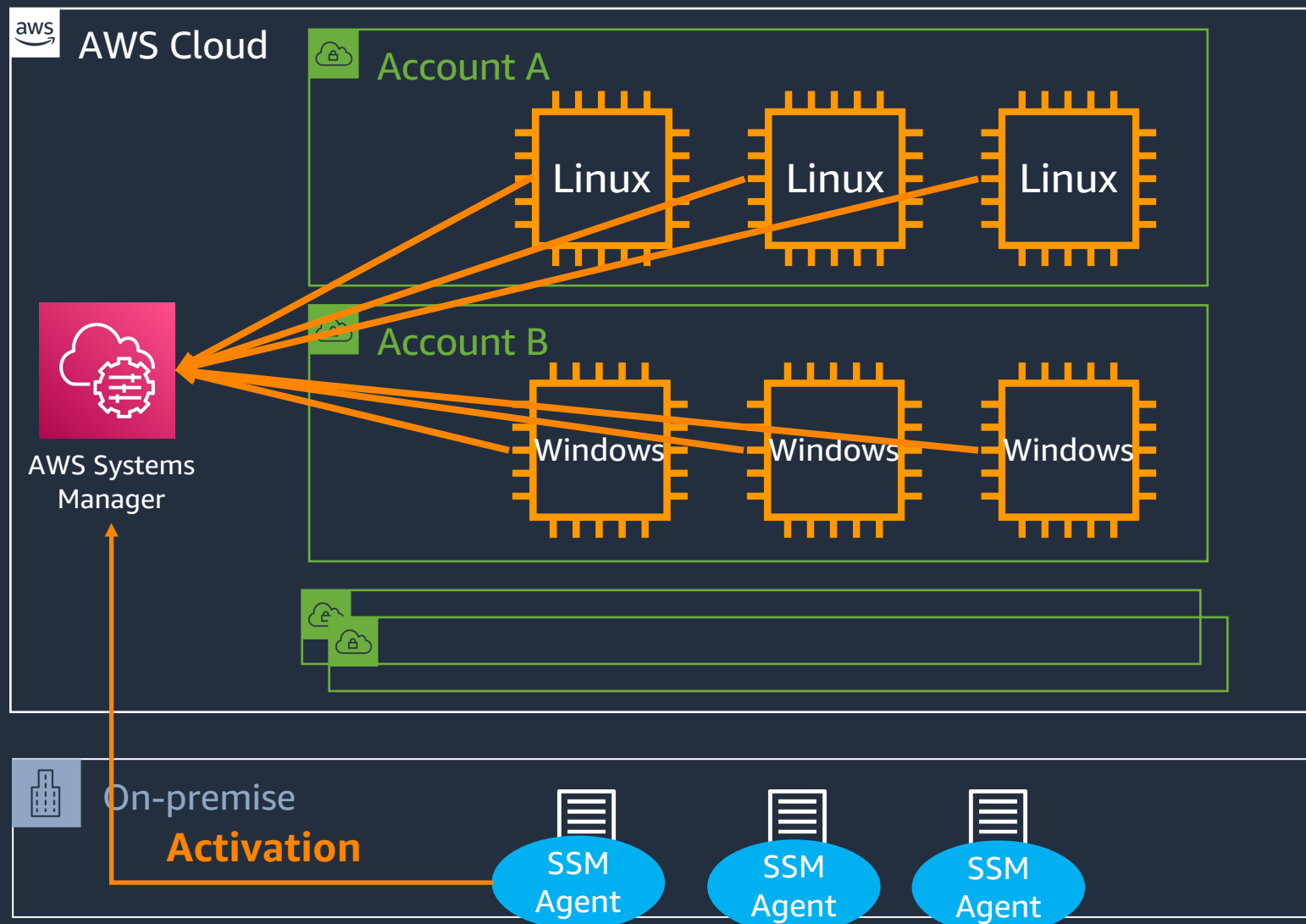
- ハイブリッドノードは、手動で SSM Agent をインストールし、マネージドノードとして SSM に登録する。

Linux へのインストール手順は[こちら](#)、Windows のインストール手順は[こちら](#)



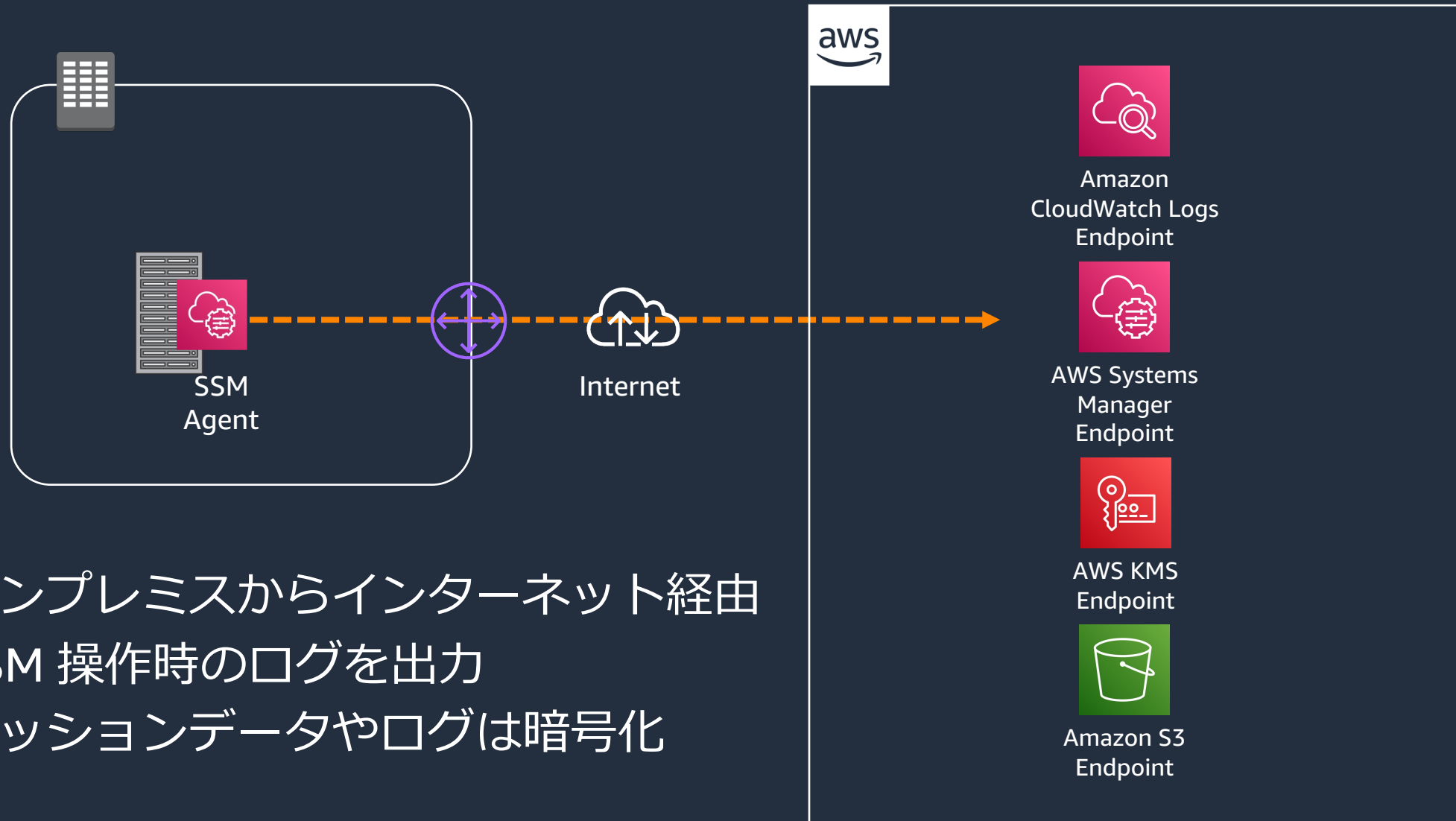


# ここまでやれば、晴れてマネージドノードに！



# 具体的な構成手順とデモ

# 前提



- オンプレミスからインターネット経由
- SSM 操作時のログを出力
- セッションデータやログは暗号化

# 【ご参考】 閉域網での構成例

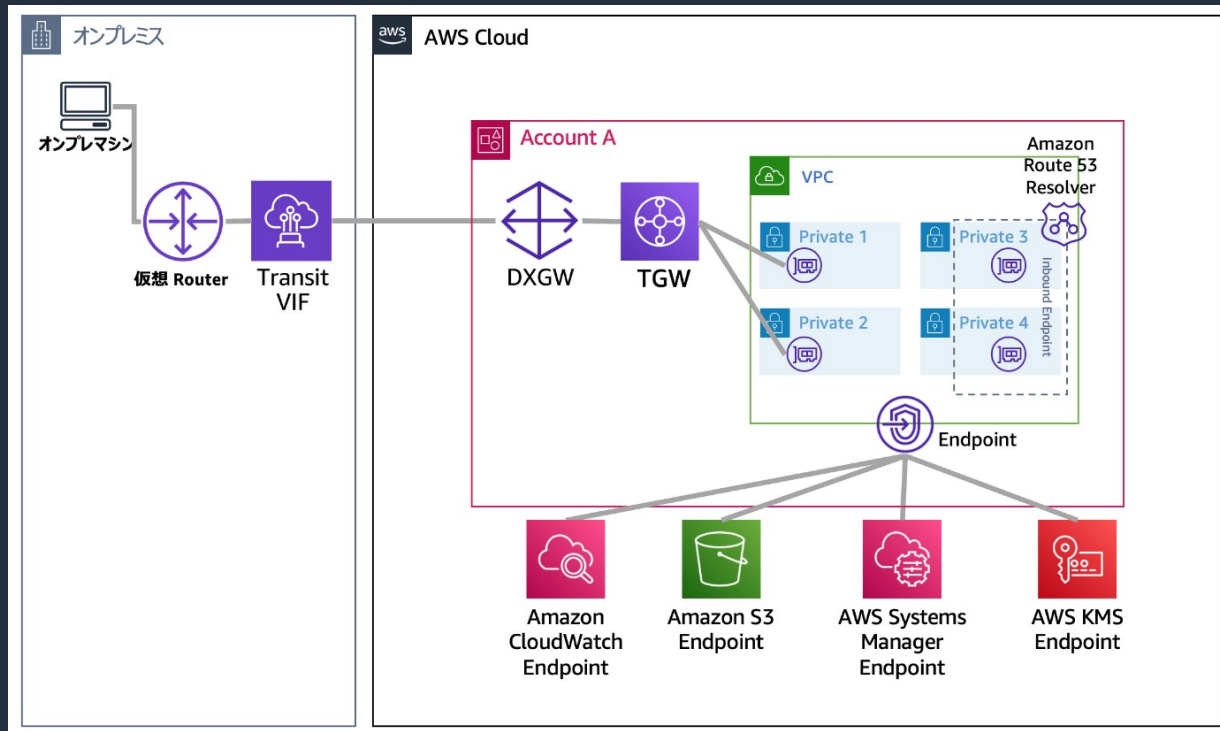
Amazon Web Services ブログ

## ハイブリッド環境の運用・監視の実現 – 閉域網で AWS Systems Manager と Amazon CloudWatch を構成する

by Kyosuke Murata | on 26 7月 2022 | in [Amazon CloudWatch](#), [AWS Systems Manager](#), [Hybrid Cloud Management](#), [Management & Governance](#) | [Permalink](#) | [Share](#)

こんにちは。ソリューションアーキテクトの村田と申します。

昨今オンプレミスとクラウドを併用した環境が多く、運用・監視の仕組みを集約したいと考えたことはないでしょうか。私がソリューションアーキテクトとして仕事させて頂く中で、オンプレミスサーバを AWS の仕組みで運用・監視する場合の構成方法についてお客様からご相談頂くことがあり、オンプレミスと AWS は閉域網で接続したいというご要望を頂くことがあります。2022年7月時点でまとまった情報が公開されていないため、このブログでは閉域接続のオンプレミスサーバを [AWS Systems Manager](#) と [Amazon CloudWatch](#) で運用・監視するための構成方法について詳しくご紹介します。



閉域網での構成例について記載したブログは[こちら](#)

# 手順 1. インターネットへの疎通確認

## Ubuntu Server 20.04 LTS の場合

インターネット向けの HTTPS アクセスができることの確認

```
$ curl https://checkip.amazonaws.com/
```

SSM の各種エンドポイントと通信プロトコルについては[こちら](#)

# 手順 2-1. IAM サービスロールの作成

IAM > ロール > ロールを作成

ステップ 1  
信頼されたエンティティを選択

ステップ 2  
許可を追加

ステップ 3  
名前、確認、および作成

## 信頼されたエンティティを選択 情報

### 信頼されたエンティティタイプ

AWS のサービス

EC2、Lambda、その他の AWS サービスが、このアカウントでアクションを実行することを許可します。

AWS アカウント

お客様またはサードパーティーに属する他の AWS アカウントのエンティティが、このアカウントでアクションを実行することを許可します。

ウェブアイデンティティ

指定された外部ウェブアイデンティティプロバイダーによってフェデレーションされたユーザーが、このロールを引き受け、このアカウントでアクションを実行することを許可します。

SAML 2.0 フェデレーション

会社のディレクトリから SAML 2.0 を使用してフェデレーションされたユーザーが、このアカウントでアクションを実行することを許可します。

カスタム信頼ポリシー

カスタム信頼ポリシーを作成して、他のユーザーがこのアカウントでアクションを実行できるようにします。

### ユースケース

EC2、Lambda、その他の AWS のサービスがこのアカウントでアクションを実行することを許可します。

#### 一般的なユースケース

EC2

Allows EC2 instances to call AWS services on your behalf.

Lambda

Allows Lambda functions to call AWS services on your behalf.

#### 他の AWS のサービスのユースケース:

Systems Manager

Systems Manager

Allows SSM to call AWS services on your behalf

Systems Manager - Inventory and Maintenance Windows

Allow AWS Systems Manager to call AWS resources on your behalf.

キャンセル

次へ

# 手順 2-2. IAM サービスロールの作成

IAM > ロール > BB\_Hybrid\_Activation

## BB\_Hybrid\_Activation

Allows SSM to call AWS services on your behalf

削除

### 概要

編集

作成日  
April 26, 2023, 14:53 (UTC+09:00)

ARN  
arn:aws:iam::[account-id]:role/BB\_Hybrid\_Activation

最後のアクティビティ  
14 分前

最大セッション時間  
1 時間

許可 | 信頼関係 | タグ | アクセスアドバイザー | セッションを取り消す

### 許可ポリシー (4) 情報

最大 10 個の管理ポリシーを添付できます。

検索: ポリシーをプロパティまたはポリシー名でフィルタし、Enter キーを押します。

ポリシー名	タイプ	説明
CloudWatchAgentServerPolicy	AWS 管理	Permissions required to use Amazon CloudWatch Agent
AmazonSSManagedInstanceCore	AWS 管理	The policy for Amazon EC2 Role to use Amazon SSM
bb_hybrid_activations_kms	カスタマイズ	
bb_hybrid_activations_s3_access	カスタマイズ	

Session Manager、S3 や CloudWatch Logs の暗号化を利用する場合、適したポリシーを IAM サービスロールにアタッチする必要があります。

今回の構成では、セッションデータやログの暗号化を行っています。

Amazon CloudWatch Logs へのセッションデータのログ記録と暗号化については[こちら](#)  
Amazon S3 へのセッションデータをログ記録と暗号化については[こちら](#)  
Session Manager のセッションデータ暗号化については[こちら](#)

# 手順 3-1. アクティベーションの作成

The screenshot shows the AWS Systems Manager console interface. On the left is a navigation menu with two main sections: '変更管理' (Change Management) and 'ノード管理' (Node Management). Under '変更管理', there are links for 'Change Manager', 'オートメーション' (Automation), 'Change Calendar', and 'メンテナンスウィンドウ' (Maintenance Windows). Under 'ノード管理', there are links for 'フリートマネージャー' (Fleet Manager), 'コンプライアンス' (Compliance), 'インベントリ' (Inventory), and 'ハイブリッドアクティベーション' (Hybrid Activation), which is highlighted in orange. The main content area is titled 'マネジメント' (Management) and features a large heading: 'AWS Systems Manager のアクティベーション ハイブリッド環境の一元管理' (AWS Systems Manager Activation: Unified Management of Hybrid Environments). Below the heading is a paragraph explaining that this feature registers on-premise servers and virtual machines (VMs) into AWS Systems Manager, alongside Amazon EC2 instances, to manage hybrid environments. On the right side of the main content area, there is a white box with the text 'オンプレミスのサーバーまたはデバイスの登録' (Register on-premise servers or devices) and a prominent orange button labeled 'アクティベーションを作成する' (Create Activation).

▼ 変更管理

- Change Manager
- オートメーション
- Change Calendar
- メンテナンスウィンドウ

▼ ノード管理

- フリートマネージャー
- コンプライアンス
- インベントリ
- ハイブリッドアクティベーション**

マネジメント

## AWS Systems Manager のアクティベーション ハイブリッド環境の一元 管理

オンプレミスのサーバーと仮想マシン (VM)、AWS クラウドサーバー以外のサーバー、およびその他のデバイスを AWS Systems Manager に登録するためのアクティベーションを作成します。Amazon EC2 インスタンスとハイブリッド環境を

オンプレミスのサーバーまたは  
デバイスの登録

**アクティベーションを作成する**



# 手順 3-2. アクティベーションの作成

AWS Systems Manager > アクティベーション > アクティベーションの作成

## アクティベーションの作成

**アクティベーション設定**  
 新しいアクティベーションを作成します。アクティベーションの完了後、アクティベーションコードと ID が送信されます。このコードと ID を使用して SSM エージェントをハイブリッドおよびオンプレミスのサーバー、または仮想マシンに登録してください。[詳細情報はこちらをご覧ください](#)

アクティベーションの説明- オプション  
 最大 256 文字です。

インスタンス制限  
 AWS に登録するサーバーと VM の合計数を指定します。  
 1

IAM ロール  
 マネージドインスタンス上の SSM エージェントと AWS の間での通信を有効にするには、IAM ロールを指定します

システムによって作成されたデフォルトのロール  
 (AmazonEC2RunCommandRoleForManagedInstances) を使用する

必要な許可を持つ既存のカスタム IAM ロールを選択する

**①** このオプションを選択すると、AWS はユーザーが指定している既存のロールを使用します。ロールには必要な許可を持たせておく必要があります。許可がない場合、コマンドの実行に失敗します。[詳細情報はこちらをご覧ください](#)

BB\_Hybrid\_Activation

アクティベーションの有効期限  
 この日付はアクティベーションの有効期限が切れる日付を指定します。有効期限日後に追加のマネージドインスタンスを登録したい場合は、新しいアクティベーションを作成する必要があります。この有効期限日は、既に登録済みで実行中のインスタンスには影響しません。  
 2023-04-27T12:00+09:00  
 有効期限日は、今日から 30 日以内の日付に設定してください

デフォルトのインスタンス名- オプション  
 このマネージドインスタンスがコンソールに表示されるとき、または List API を呼び出すときに、このマネージドインスタンスの特定に役立つ名前を指定します。  
 最大 256 文字です。

キャンセル **アクティベーションの作成**

設定項目	内容
アクティベーションの説明 (オプション)	このアクティベーションの説明を入力
インスタンス制限	このアクティベーションで登録するノードの合計数 ※ デフォルト値は 1 インスタンス
IAM ロール	事前に作成した IAM サービスロールを選択 ※ デフォルトはシステムによって作成されたデフォルトのロール
アクティベーション有効期限	アクティベーションが期限切れになる時間を指定 (例: 2023-04-27T12:00+09:00) ※ 有効期限は将来の日付で 30 日以内で入力、デフォルト値は 24 時間
デフォルトのインスタンス名 (オプション)	このアクティベーションに関連付けられる全てのノードに表示する識別名 (ノード名に表示される。指定しないと "-" となる。)

🕒 新しいアクティベーションが正常に作成されました。アクティベーションコードを以下に記載します。このコードに再度アクセスすることはできないため、コードをコピーして安全な場所に保存してください。

Activation Code



Activation ID 255996e5-f42d-44c8-8fb8-eb17f76696bc

これで、amazon-ssm-agent をインストールして、Run Command でインスタンスを管理できるようになりました。[詳細情報はこちらをご覧ください](#)

# 手順 4. SSM Agent インストール

## Ubuntu Server 20.04 LTS の場合 (.deb パッケージ使用)

```
$ mkdir /tmp/ssm
```

```
$ curl https://s3.amazonaws.com/ec2-downloads-  
windows/SSMAgent/latest/debian_amd64/amazon-ssm-agent.deb -o /tmp/ssm/amazon-  
ssm-agent.deb
```

```
$ sudo dpkg -i /tmp/ssm/amazon-ssm-agent.deb
```

```
$ sudo service amazon-ssm-agent stop
```

```
$ sudo -E amazon-ssm-agent -register -code "activation-code" -id "activation-id" -region  
"region"
```

```
$ sudo service amazon-ssm-agent start
```

※ Linux へのインストール手順は[こちら](#)、Windows のインストール手順は[こちら](#)

# 晴れてマネージドノードに

AWS Systems Manager > フリートマネージャー

## フリートマネージャー 情報

マネージドノード | 設定

マネージドノード 高度なインスタンス

レポートをダウンロード 新規 | ノードアクション | アカウント管理

Q フィルター

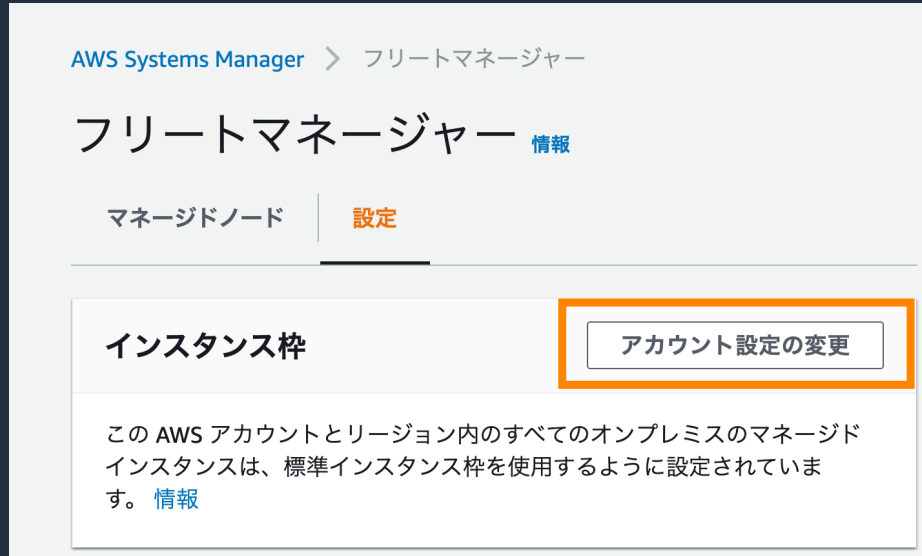
合計: 3 ノード 最終取得日: 18:46

ノード ID	ノードの状態	ノード名	オペレーティ...	ソースタイプ	SSM Agent の pin...	SSM Agent の...	イメージ ID	EC2 インス...	コンピュー...
mi-09e70b74ae9f6d...	-	bb-ubuntu	Ubuntu	AWS::SSM::ManagedInstance	オンライン	3.2.815.0	-	-	bbubuntu
mi-0a35c5b8fc9a4a4...	-	bb-windows-serv...	Microsoft Windo...	AWS::SSM::ManagedInstance	オンライン	3.2.815.0	-	-	WIN-85KULES...
i-0238e4ae9600e8fdd	実行中	bb-ec2-al2023	Amazon Linux	EC2 インスタンス	オンライン	3.2.815.0	ami-01b32aa8589df6208		ip-10-0-4-1...

## ハイブリッドノードの Fleet Manager への表示のされ方

- ノード ID は "mi-" から始まる
- ソースタイプは "AWS::SSM::ManagedInstance"
- ノード名の列は "アクティベーション時の入力値" (ホスト名はコンピュータ名の列)

# 手順 5. インスタンス枠を変更（オプション）



The screenshot shows the AWS Systems Manager console interface. At the top, it says 'AWS Systems Manager > フリートマネージャー'. Below that, the main heading is 'フリートマネージャー' with a '情報' (Info) link. There are two tabs: 'マネージドノード' (Managed Nodes) and '設定' (Settings), with '設定' being the active tab. Under the '設定' tab, there is a section for 'インスタンス枠' (Instance Capacity). A button labeled 'アカウント設定の変更' (Change Account Settings) is highlighted with an orange border. Below this button, there is a text block stating: 'この AWS アカウントとリージョン内のすべてのオンプレミスのマネージドインスタンスは、標準インスタンス枠を使用するように設定されています。' (All managed instances in this AWS account and region are configured to use the standard instance capacity.) followed by an '情報' (Info) link.

- 以下のシナリオではアドバンスドティアのアクティブ化が必要（追加料金が発生）
  - アカウント毎にリージョンあたり 1,000 を越えるハイブリッドノード（オンプレミスサーバ、エッジデバイス、仮想マシン）を登録
  - ハイブリッドノードに接続するために Session Manager を使用
  - ハイブリッドノードで Microsoft がリリースしたアプリケーション（OS 以外）にパッチを適用

# 手順 5. インスタンス枠を変更（オプション）

AWS Systems Manager > フリートマネージャー

## フリートマネージャー 情報

マネージドノード | **設定**

### インスタンス枠

この AWS アカウントとリージョン内のすべてのオンプレミスインスタンスは、標準インスタンス枠を使用するよす。 [情報](#)

アカウントとリージョン内のすべてのオンプレミスのインスタンス (または Systems Manager のオンプレミスのアクティベーションを使用する Amazon EC2 インスタンス) を高度なインスタンスに変更することに同意します。

このアクションにより、高度なインスタンス枠が現在の AWS アカウントおよびリージョンで有効化されます。高度なインスタンスは、スタンダードインスタンスで設定されている 1,000 のインスタンス制限を超えてスケールリングできます。高度なインスタンスを使用すると、Systems Manager セッションマネージャーを使用してオンプレミスのインスタンスに接続することもできます。セッションマネージャーを使用すると、インスタンスへのインタラクティブシェルアクセスが可能です。

アドバンスドインスタンスは、従量制料金にて利用可能です。詳細については、[AWS Systems Manager の料金](#) を参照してください。

この設定を変更すると、現在のアカウントとリージョンのすべての標準インスタンスを高度なインスタンスに変換します。この設定を変更するには、適切なアクセス許可が必要です。 [詳細はこちら](#)

キャンセル **設定の変更**

- 以下のシナリオではアドバンスドティアのアクティブ化が必要（追加料金が発生）
  - アカウント毎にリージョンあたり 1,000 を越えるハイブリッドノード（オンプレミスサーバ、エッジデバイス、仮想マシン）を登録
  - ハイブリッドノードに接続するために Session Manager を使用
  - ハイブリッドノードで Microsoft がリリースしたアプリケーション（OS 以外）にパッチを適用

# 手順 5. インスタンス枠を変更（オプション）

The screenshot shows the AWS Systems Manager console interface. On the left, the 'フリートマネージャー' (Fleet Manager) page is visible, with the '設定' (Settings) tab selected. The 'インスタンス枠' (Instance Limits) section is highlighted with an orange box. Below it, a checkbox is checked, indicating the selection of advanced instance limits. The main content area displays the '標準層から高度な層への変更を確認' (Check for changes from standard to advanced) section, which explains that advanced instance limits allow for more than 1,000 instances per account and region. On the right, another screenshot shows the 'フリートマネージャー' page with the '高度なインスタンス' (Advanced Instance) option selected in a green box under the 'マネージドノード' (Managed Nodes) section.

- 以下のシナリオではアドバンスドティアのアクティブ化が必要（追加料金が発生）
  - アカウント毎にリージョンあたり 1,000 を越えるハイブリッドノード（オンプレミスサーバ、エッジデバイス、仮想マシン）を登録
  - ハイブリッドノードに接続するために Session Manager を使用
  - ハイブリッドノードで Microsoft がリリースしたアプリケーション（OS 以外）にパッチを適用

# デモ 1

AWS Systems Manager > フリートマネージャー

## フリートマネージャー 情報

**マネージドノード** | 設定

マネージドノード 高度なインスタンス

🔄 レポートをダウンロード 新規 ノードアクション ▼ アカウント管理 ▼

🔍 フィルター < 1 > ⚙️

合計: 3 ノード 最終取得日: 9:17

<input type="checkbox"/>	ノード ID ▼	ノードの... ▼	ノード名 ▼	オペレーティ... ▼	ソースタイプ ▼	SSM Agent の pin... ▼	SSM Agent の... ▼
<input type="checkbox"/>	mi-09e70b74ae9f6d...	-	bb-ubuntu	Ubuntu	AWS::SSM::ManagedInstance	🟢 オンライン	3.2.815.0
<input type="checkbox"/>	mi-0a35c5b8fc9a4a...	-	bb-windows-...	Microsoft Windo...	AWS::SSM::ManagedInstance	🟢 オンライン	3.2.815.0
<input type="checkbox"/>	i-0238e4ae9600e8fdd	🟢 実行中	bb-ec2-al2023	Amazon Linux	EC2 インスタンス	🟢 オンライン	3.2.815.0

# デモ 2

☰ AWS Systems Manager > Run Command

コマンド | コマンド履歴

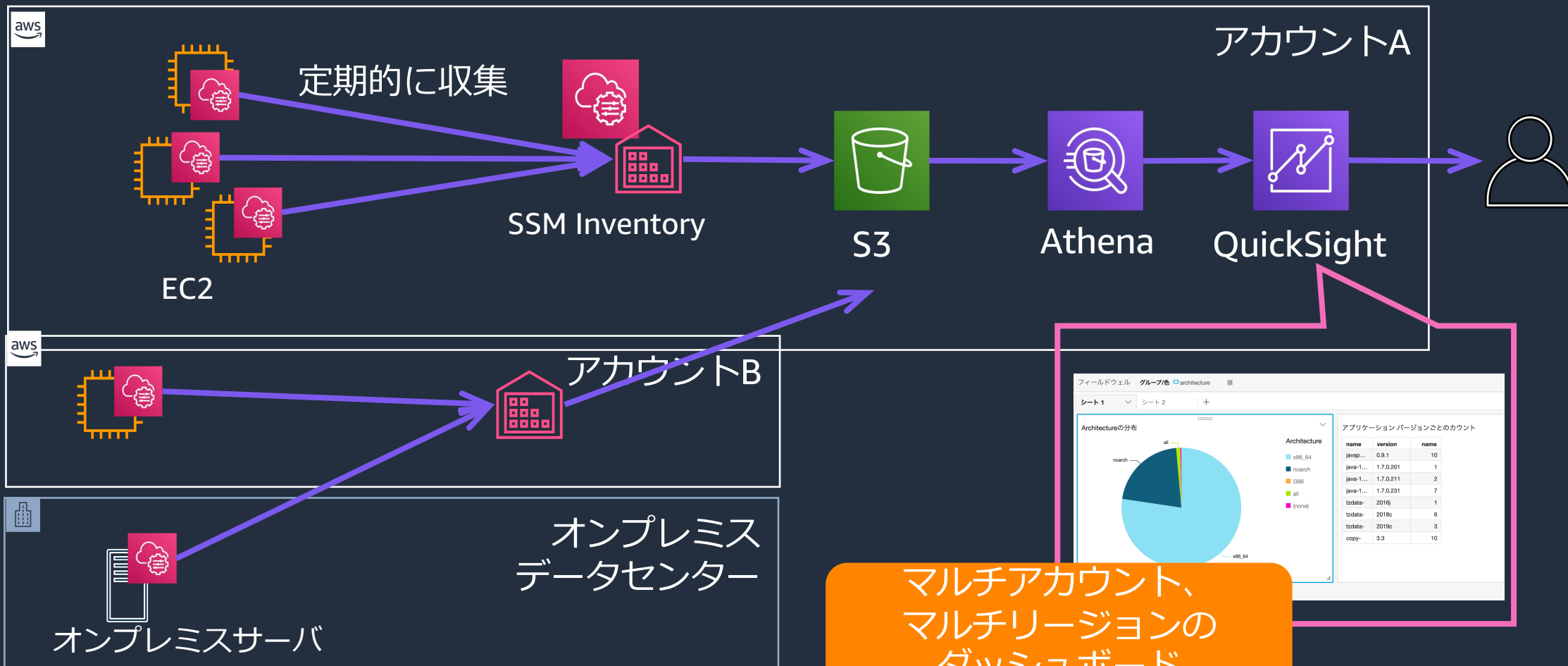
コマンド  🔄 詳細の表示 コマンドのキャンセル コマンドの再実行 Copy to new Run command

< 1 >

コマンド ID	ステータス	リクエストされた日付	ドキュメント名	コメント	ターゲット数	エラー数
6a82c62a-e3ea-4a38-925a-71ef9518080b	🕒 進行中	Mon, 29 May 2023 12:17:44 GMT	AmazonInspector2-ConfigureInspectorSsmPlugin	a3b32cc3-88fe-4bcf-9c75-83f6d210cfe9:df87473b-b02a-4932-8623-53ecf03ad6d7	1	0
7df719b3-c952-4d1a-a5a8-758ed5b3c567	🕒 進行中	Mon, 29 May 2023 12:17:44 GMT	AmazonInspector2-InvokeInspectorSsmPlugin	b8ffce21-2d33-453d-8483-98f99b71555b:e63cee71-b924-451e-9aa8-574630bffd1	1	0



# 【ご参考】 Inventory の活用例： マルチアカウント/マルチリージョンのダッシュボードの作成



詳細はこちらの[チュートリアル](#)参照

「チュートリアル: リソースデータの同期を使用してインベントリデータを集約する」



# SSM Hybrid Activations の料金

# Hybrid Activations の料金

- アカウント毎にリージョンあたり 1,000 のハイブリッドノード（オンプレミスサーバ、エッジデバイス、仮想マシン）を追加料金なしで登録可能
- 以下のシナリオではアドバンスドティアのアクティブ化が必要（追加料金が発生）
  - 1,000 を越えるハイブリッドノードを登録
  - ハイブリッドノードに接続するために Session Manager を使用
  - ハイブリッドノードで Microsoft がリリースしたアプリケーション（OS 以外）にパッチを適用

インスタンスティア	料金
スタンダード	追加料金無し アカウントごとにリージョンあたり最大 1,000 までの制限
アドバンスド	<b>Systems Manager Hybrid Activations</b> を使用して登録されたノードごとに時間あたり 0.00695 USD 無料利用枠なし

【参考】

インスタンス層の設定

[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/systems-manager/latest/userguide/systems-manager-managed-instances-tiers.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/systems-manager/latest/userguide/systems-manager-managed-instances-tiers.html)

AWS Systems Manager の料金

<https://aws.amazon.com/jp/systems-manager/pricing/>

© 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates.



# 計算例

アカウント A でインスタンスティアをスタンダードで 500 のオンプレミスサーバを登録、  
アカウント B でインスタンスティアをアドバンスドで 1,500 のオンプレミスサーバを登録し、  
10 日間経過しているとします。

アカウント	インスタンスティア	管理台数	料金
A	スタンダード	オンプレミス サーバ 500 台	請求無し
B	アドバンスド	オンプレミス サーバ 1,500 台	$1,500 \text{ (台)} * 0.00695 \text{ USD (/時間)} * 10 \text{ (日)} * 24 \text{ (時間)} =$ 2,502 USD

【参考】

AWS Systems Manager の料金

<https://aws.amazon.com/jp/systems-manager/pricing/>

# まとめ

# まとめ

- SSM は EC2 インスタンスはもちろん、ハイブリッドノード（AWS 以外の仮想マシン、オンプレミスサーバー、さらにはエッジデバイス）を管理可能
- アクティベーションは、ハイブリッドノードをマネージドノードとして登録する際に利用する機能

# 本資料に関するお問い合わせ・ご感想

技術的な内容に関しましては、有料のAWSサポート窓口へお問い合わせください

<https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/>

料金面でのお問い合わせに関しましては、カスタマーサポート窓口へお問い合わせください（マネジメントコンソールへのログインが必要です）

<https://console.aws.amazon.com/support/home#/case/create?issueType=customer-service>

具体的な案件に対する構成相談は、後述する個別相談会をご活用ください



ご感想は Twitter へ！ハッシュタグは以下をご利用ください  
#awsblackbelt

# その他コンテンツのご紹介

ウェビナーなど、AWS のイベントスケジュールをご参照いただけます

<https://aws.amazon.com/jp/events/>

## ハンズオンコンテンツ

<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-hands-on/>

## AWS 個別相談会

AWS のソリューションアーキテクトと直接会話いただけます

<https://pages.awscloud.com/JAPAN-event-SP-Weekly-Sales-Consulting-Seminar-2021-reg-event.html>





Thank you!